

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校版)

	実践名(実践年度)	水泳における提示教材の工夫(平成30年度)
参加する授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭/体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	水泳
	授業の目標	・水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して活動することができる。 ・お互いの泳ぎ(技能)について意見交換し、練習内容を検討、実施することができる。 ・お互いに認め合うことの大切さに気づくことができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input checked="" type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
	自立活動の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 健康の保持 <input type="checkbox"/> 心理的な安定 <input type="checkbox"/> 人間関係の形成 <input type="checkbox"/> 環境の把握 <input type="checkbox"/> 体の動き <input type="checkbox"/> コミュニケーション
学習(集団)の実態	学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 1・2・3学年 5名
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
子どもの実態	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> 時間的・空間的・人的交流の制約 <input type="checkbox"/> その他 体育授業においては、さまざまな工夫が必要である。新しく実施する運動や競技に関しては、言葉による詳細な説明が必要となるため、手話や指文字を併用しての文字を中心とした説明を行うが、言葉の概念理解が困難となりやすいため、文字による説明だけでは、たとえ手話や指文字を併用したとしても、十分な理解が得られないことも考えられる。ルールの説明において、絵や図、示範などの視覚的教示の実施が必要である。さらに、実際の動きに同期した言葉がけによる指導が困難であるため、さまざまな配慮や情報保障も必要である。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称 (使用した支援機器・教材の名称を記載。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	・大型TV ・AppleTV ・アクションカメラ「GOPRO」 ・iPad ・アプリ「ウゴトル」 
	活用のねらい(概要)	A コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B 活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) アクションカメラとアプリを活用し、模範映像と見比べる活動の中で、自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考、判断する事を目的とした。また、他者に伝える力の育成や、当事者の意欲につながるよう、相手には良かった点を発表する活動を行い、相手の良かった点を探し、伝えることや、伝えられた事を振り返り、フィードバックする事で、コミュニケーションの力の育成を図った。
	活用方法	・アクションカメラを使用し、水中から生徒の泳いでいる様子を撮影した。 ・仲間と一緒に、アプリ「ウゴトル」を使用して模範動画と見比べ、違いは何か等話し合いを行った(図1)。 ・仲間には当事者の良かった所を発表してもらい、映像の当事者は、違いや悪かった箇所等を発表し、どうすれば改善できるか等、仲間と検討を行った(図2)。
効果・評価	ICTを活用した授業での子どもの様子や変容および授業の評価	「息継ぎの時の顔の上げ方が違う。」「背中が反りすぎていて、足が沈んでいる。」等、すぐに課題を見つけることができた。模範映像と自分の映像を並べて提示することで、自分の課題に気づきやすくなったためと考えられる。また、「身体が真っ直ぐになっていて、水の抵抗が少ないので、早く泳げそうで良い」等、相手の良い所を具体的に伝えることができた。また「良い所を言われて嬉しかった。」という意見も引き出すことができた。三角ロジックを意識させることで、具体的な内容を相手に伝えることができていたと思われる。最後に、課題解決のためには、どうしたら良いか仲間と話し合いをしてもらった。課題解決の方法や練習内容等を今まで学習した内容を基に検討し、実施することができた。ICT等を活用して、知識の定着・理解の補完、また、思考の深化・拡大を図ることができたためだと考えられる。
資料	図・写真・表等 (生徒の写真は個人情報公開の確認を取っているものとする。)	 図1 模範動画と見比べ  図2 話し合いの様子